

多文化関係学会 2018年度 第1回理事会 議事録

開催日時：2018年5月26日（土）11:00-12:30

開催場所：成城大学7号館713教室

出席者（敬称略）11名：松永、中川、湊、田中、松井、宇治谷、原、武田、内藤、趙、山田（順不同）

委任状（敬称略）4名：金本、原、奥西、出口（順不同）

1. 報告事項

（1）2018年度活動計画について（各委員会委員長）

1. 事務局長からの報告

総数318名、一般会員250名、学生会員63名、シニア5名（退会希望1名、）
3月末、会費未納の人を除籍した。

2. 地区研究会委員会からの報告

北海道地区：8月4日に捕鯨問題の研究者である細川隆雄氏（愛媛大学名誉教授）により「日本人はどういう理由で鯨塚をたてお祀りしたのか」のテーマで開催予定。

関東地区：5月26日日本理事会及び臨時総会終了後、13:30より地区研究会を開催する。

中部・関西：5月12日にワークショップ実施し、25名が参加した。

中国・四国：検討中である。

九州：中国・四国地区研究会との合同により実施を計画している。

3. 第17回大会準備委員会からの報告

年次大会に向けて、研究発表を受け付けている。締め切りは6月10日の予定。学会の参加費の割引は8月10日までの申し込みまで。宿泊、大会会場でのwifiの使用等について大会ウェブサイトにおいて情報提供している。

4. 学会誌編集委員会からの報告

今年度の委員会メンバーの紹介。5月6日に締め切りをし、論文11件、研究ノート3件を受け付けた。19日に第一回目の編集委員会を行い、投稿規定、編集委員の選定、年間計画等の協議を行った。次回は8月9日に査読結果についての会議を行う予定。

5. ニュースレター委員会からの報告

第33号は6月1日をめどに発行予定。第32号に昨年度の議事録が入っていなかったため、次回のニュースレターにお詫びとともに議事録を掲載の予定。

6. 財務委員会からの報告

2017 年度の決算書の報告があった。収入は主に学会費であるが、入金 of 報告書に基づいて収入に記載。支出は主に学会誌の管理業務と学会費回収業務への支払い、及び委員会運営経費、会議開催費の支払いである。また監事より理事会出席の理事への交通費補助をもう少し増額してはどうかという意見が寄せられた。

7. 2019 年度大会について

2019 年度の年次大会は山本志都先生（東海大学）を大会委員長として準備を進めており、順天堂大学で開催することが決定した。2019 年度の年次大会の異文化コミュニケーション学会との共催は行わないことになったが、学会の連携の仕方については引き続き検討していく。

8. 選挙管理委員会

7月の第2回理事会において互選をおこなう。規定により1期目の理事は「継続」と定められている。2期目の理事については、残っていただきたい方を理事による互選で決定する。9月の総会にて選挙について周知をし、12月に選挙を実施する予定。

2. 審議事項

1. 2018 年度予算案について

収入は会費未納者の人数を考慮し、2017 年度と同じ額で設定した。学会誌販売は17 年度の実績をもとに15 万円とした。支出について、各地区研究会では最大4 万円まで支出可能であるため、前回と同様10 万円の予算を計上した。学会誌編集委員会運営経費として、英文チェック1 万円、Publication Manual of the American Psychological Association 購入の要望があったため増額した。理事会出張費補助について、監事より現状の20%補助を見直す必要が指摘されたことを受け、70 万円を計上した。理事会及び各委員会の出張も含めて支払いを可能としている。選挙管理委員会の選挙に関わる費用は事務代行費から支出する。

2. 20 周年記念事業について（予算関連）

2018 年度はシンポジウムを年次大会の一環として開催。成果は電子ファイルで発信する予定。シンポジウムに学会員以外の方で最大3 名に登壇してもらいたいと考えている。出張費に関しては最大3 日間で15 万円必要となる見込み。謝礼は大会予算からの拠出をお願いする予定。また現在はネット上の会議システムで打ち合わせを行なっているが、不具合が多いため、東京で集まって事前打ち合わせを行うため2 万円を希望している。シンポジウム準備に必要な消耗品もめ、計18 万円の予算計上を希望する。→打ち合わせ経費は、委員会運営費からの支出が可能であるため、予定通り17 万円を計上す

ることとなった。

3. 理事の旅費補助について

現在、申請額の20%を理事会交通費として補助しているが、監事より、現状の補助額では少ないという指摘があった。20%を50%にすることについて一般会員の理解を得るため、本日の臨時総会で審議し了承を得た上で、総会で報告することとした。2018年度より50%の補助とすることを提案することになった。

4. 編集委員会の会議費について

編集委員会からお願いとして、長時間に渡る会議を行うため、会議費の補助（昼食・夕食など）をしていただきたいとの要望があった。これに関しては、領収書提出の上、学会誌編集委員会運営費用から会議費として支出可能であるとの確認がなされた。

5. 特定課題研究について

本募集で応募がなかったため、追加募集を行う予定。追加募集の内容は前年度と同様とした。

6. 20周年記念事業企画について

学術委員会として若手委員の追加を行うこととなった。

7. 会員の入退会について

新入会員の受付については、最終学歴を必須項目にすることし、また退会届の提出については3月31日までとし、ホームページに記載することとなった。問い合わせ先一覧を作成し、会員に周知することとした。また年次大会の駆け込み入会の対応として、注意喚起をホームページ上で行うことになった。